

研修NO.

17-33

会社を守る中小企業の法務

リスクやコンプライアンス対策への備え方

対象者

経営者・経営幹部・管理者等

研修のねらい

会社を持続的・永続的に成長させ経営していくためには、自社を取り巻く経済環境だけでなく社会環境や法的環境を正しく理解し、環境変化に対応した経営を行っていくことが必要です。昨今、製品の安全性や企業経営の健全性に対する社会の眼には厳しいものがあります。

本研修では、経営層や総務部門の管理者が会社運営を行ううえで知っておくべき、法的観点から見た会社運営のあり方、企業リスクなどについて、実務に即した事例をもとに具体的に検討して頂きます。

このような方におすすめ

- ★法務の知識を具体的事例をもとに理解したい方
- ★法的観点から、あるいは社会や消費者の視点から会社経営を見直したい方

実施期間

全2日間(15時間)

2018年2月22日(木)~23日(金)

定員

20名

受講料

25,000円(税込)

※宿泊費は含まれません。

※お申込みが多数の場合、定員を変更させていただく場合がございます。

受講生の声

- ◆実例等具体的な話が多く有意義でした。
- ◆とても分かりやすい講義だった。

研修カリキュラム

日程	研修テーマ	内容
2/22(木) 9:40~18:10	中小企業を取り巻く法律環境を考える	<ul style="list-style-type: none"> ●企業としての組織運営のあり方、役員の役割と責任、会社経営上のリスクの検討、コンプライアンスの着眼点等を最近の企業法務の動向と判例を踏まえながら、中小企業に即して、学んでいただきます。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 企業を取り巻く法的環境 (2) 法的観点から見た中小企業の運営のあり方 (3) 役員の役割と責任 (4) 会社経営上のリスクとコンプライアンスの着眼点
2/23(金) 9:00~17:30	経営実務に活かす法務のツボ	<ul style="list-style-type: none"> ●企業が事業活動を行う際に直面するであろう法律問題について、具体的事例と演習を交えて実践的に学んでいただきます。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 商取引に関する留意点と債権管理 (2) 震災など自然災害への備えと契約書の重要性 (3) 反社会的勢力への対応 (4) その他

※カリキュラムは変更となる場合がございます。

講師紹介

▶井上 圭吾 (いのうえ けいご)

アイマン総合法律事務所 弁護士

1984年弁護士登録。大阪弁護士会副会長、(株)グンゼ社外監査役、(株)近鉄百貨店社外監査役、国土交通省近畿地方整備局入札監視委員会委員長、奈良県生駒市監査委員等を歴任し、企業法務の実務指導、各種研修講師として幅広く活躍中。最新の訴訟事例にも明るく、講義は明快で好評を博している。主な著書として、「会社法務の実務が分かる辞典」「遺言と相続対策」「事例にみる遺言の効力」「Q&Aスポーツの法律問題[第3版]」(いずれも共著)などがある。